

## E. coli由来アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1094

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)、別名アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

は、一般的にSGOT(AspAT/ASAT/AAT)または血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ(SGOT)として知られています。これは、ピリドキサールリン酸(PLP)依存性のトランスアミナーゼ酵素(EC2.6.1.1)です。ASTは、アスパラギン酸とグルタミン酸の間で $\alpha$ -アミノ基の可逆的な移動を触媒し、そのためアミノ酸代謝において重要な酵素です。ASTは肝臓、心臓、骨格筋、腎臓、脳、赤血球に存在し、肝臓の健康の指標として臨床的に一般的に

測定されます。

*別名* アスパラギン酸トランスアミナーゼ; AST; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; sgot

AspAT; ASAT; 血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; SGOT; ピリドキサールリン酸 PLP依存性トランスアミナーゼ酵素; EC 2.6.1.1; 9000-97-9; グルタミン酸オ

キサロ酢酸トランスアミナーゼ; GOT

## 製品情報

**由来** 大腸菌

形態

**EC**番号 EC 2.6.1.1

**CAS**登□番号 9000-97-9

*分子量* ~ 45.7kD

**活性** ~ 180 U/mg タンパク質

**単位定義** 1ユニットは、pH 8.5 および25°Cの条件下でNADHの存在下で、1 $\mu$ moleの $\alpha$ -ケトグルタル酸

をL-グルタミン酸に∏換するのに必要な酵素の量として定義されます。

## 保管・発送情報

*保存方法* 4°C